

第 1 2 章 公 害 の 苦 情 相 談

第 1 節 公害苦情相談の件数

1 公害苦情相談の件数

令和 3 年度の公害に関する苦情相談件数は123件で、前年度よりも39件減少しています（表12-1、図12-1）。

表12-1 年度別公害苦情相談の件数

年度	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	地下水	その他	合計
24	16	42	74	9	48	0	1	6	196
25	14	34	74	14	50	0	1	8	195
26	11	30	89	7	27	0	0	8	172
27	7	42	86	11	41	0	3	3	193
28	14	42	81	15	61	0	0	6	219
29	10	20	66	10	42	0	1	7	156
30	8	24	54	8	39	0	1	7	141
元	10	12	47	6	31	0	0	5	111
2	9	25	65	13	45	0	0	5	162
3	2	18	58	10	32	0	0	3	123

※水質汚濁には油類、へい死魚等を、その他には地盤沈下を含む。

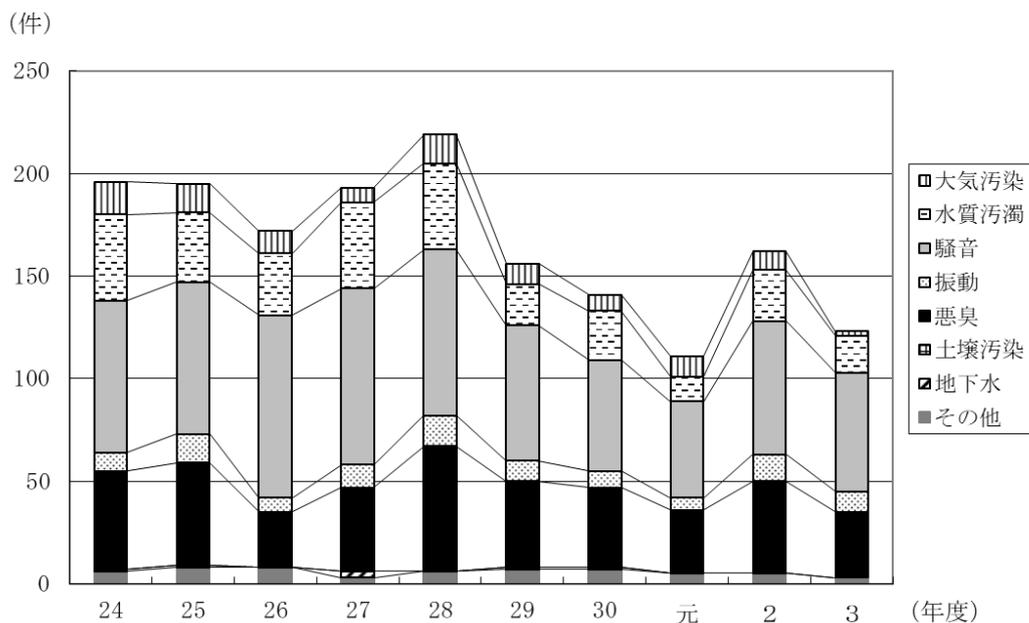


図12-1 年度別公害苦情相談件数の推移

2 種類別の苦情相談件数

苦情相談件数を種類別にみると、騒音の苦情相談が最も多く、以下、悪臭、水質汚濁の順となっています（図12-2）。

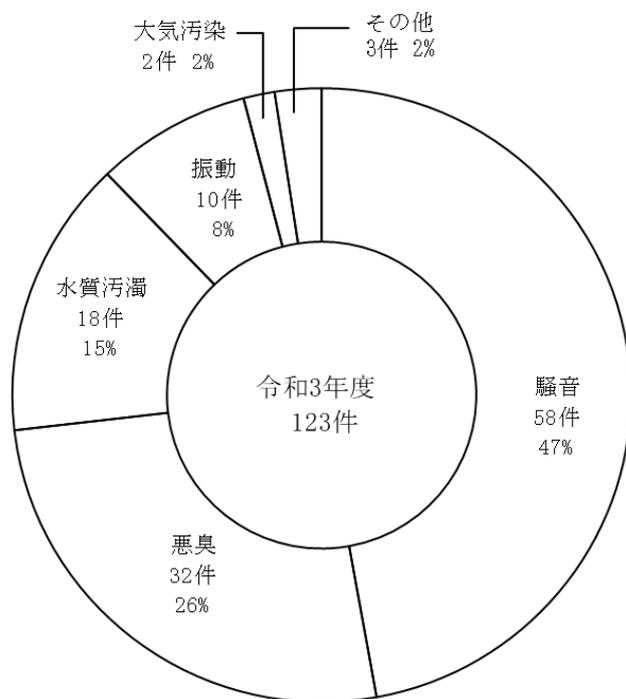


図12-2 種類別苦情相談件数

3 月別の苦情相談件数

苦情相談件数を月別にみると4月が最も多くなっています（図12-3）。

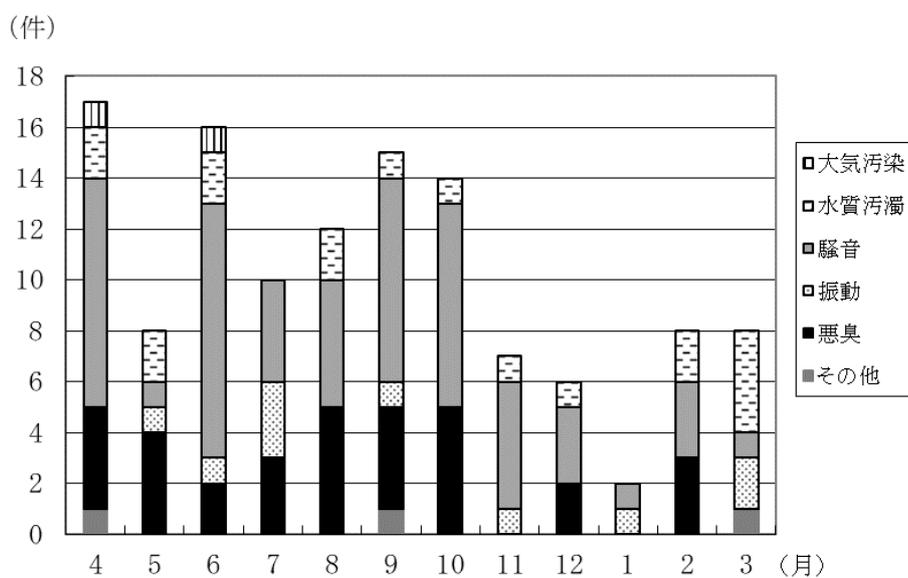


図12-3 月別の苦情相談件数

4 業種別の苦情相談件数

発生源者を業種別にみると、苦情相談件数が最も多かったのは総合工事業の24件で、次いで、サービス業の19件となっています（不明を除く）（表12-2）。

表12-2 発生源の業種別の苦情相談件数

業種	大気	水質	騒音	振動	悪臭	地下水	その他	合計
耕種農業								
畜産養蚕農業		1			3			4
農業サービス業								
林業								
漁業								
金属工業								
石炭原油鉱業								
非金属工業								
総合工事業	2		17	5				24
その他工事業			9	2	1			12
製造業所	食料品製造業		1		5			6
	繊維工業							
	木材製造業			2				2
	パルプ製造業							
	出版関連産業							
	化学工業							
	石油製造業							
	プラスチック製造業							
	ゴム製造業							
	窯業等製造業			1				1
	鉄鋼非鉄金属					1		1
	機械器具製造							
	その他製造業 (小計)			4		6		
電気ガス等								
水道業		1						1
鉄道業				1				1
旅客輸送業				1				1
貨物輸送業								
航空運輸業			2					2
その他運輸業		1	1					2
サービス業	再生資源卸売	1	1					2
	卸売・小売業						1	1
	飲食業			4		4		8
	飲食店のカラオケ							
	洗濯理容業等	1						1
	駐車業			1				1
	生活関連サービス							
	旅館等			1				1
	娯楽業							
	娯楽業のカラオケ							
	ゴルフ場業等							
	自動車整備業					1		1
	機械修理業							
	専門サービス業							
	廃棄物処理業							
医療業等			1				1	
社会保険福祉			1				1	
教育等								
その他サービス業 (小計)	1		10		5		1	19
公務				1				1
事務所		1	1		1			3
道路				1				1
空地								
公園								
神社寺院等			1		1			2
その他		2	10		7			19
不明		9	2		8		2	21
合計	2	18	58	10	32	0	3	123

5 用途地域別の苦情相談件数

発生源を用途地域別にみると、苦情相談件数が最も多かったのは住居地域の44件で、次いで商業地域の14件となっています（表12-3）。

表12-3 用途地域別公害苦情相談件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計	比率%
住居区域	1	4	22	2	13	2	44	35.8
近隣商業			4	1	2		7	5.7
商業	1	1	7	3	2		14	11.4
準工業			5		3		8	6.5
工業		1					1	0.8
工業専用					1		1	0.8
調整区域		1	8	1	3		13	10.6
その他		7	7	2	8		24	19.5
特定できず		4	5	1		1	11	8.9
合計	2	18	58	10	32	3	123	100

6 被害の種類別の苦情相談件数

原因を被害の種類別にみると、苦情相談件数が最も多かったのは感覚・心理的の110件で、次いで健康の9件となっています（表12-4）。

表12-4 被害の種類別公害苦情相談件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計	比率%
健康	1	2	1	1	4		9	7.3
財産				1			1	0.8
動物・植物							0	0.0
感覚・心理的	1	13	57	8	28	3	110	89.4
その他		3					3	2.4
合計	2	18	58	10	32	3	123	100

第2節 公害苦情相談の概況

1 大気汚染

件数は2件で前年度より7件減少しました（図12-4）。

粉じんに関するものが2件となっています。

建設作業中の散水不足による粉じん被害が主な原因であり、施工業者への周知及び指導を行っています。

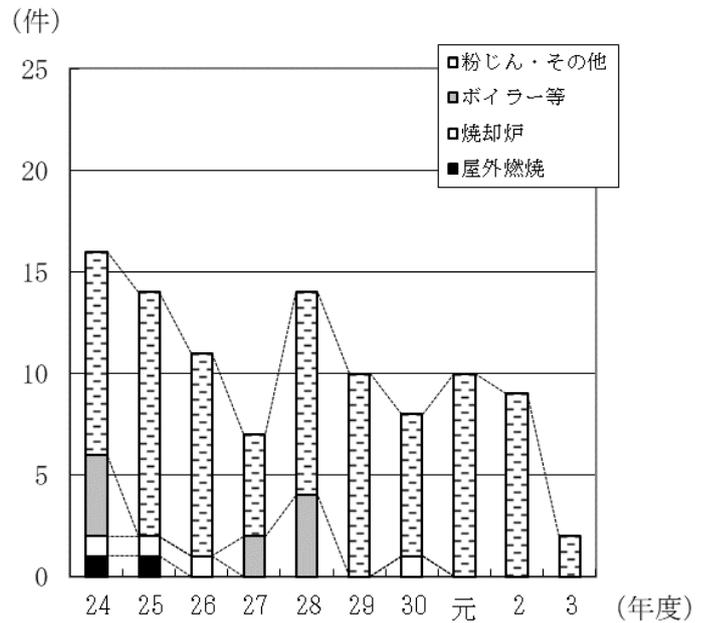


図12-4 大気汚染苦情相談内訳

2 水質汚濁

件数は18件で前年度より7件減少しました（図12-5）。

種類としては、汚水10件、油流出8件となっています。

河川汚濁事故対策としては、発生源に対する汚水処理の適正指導、汚濁物質の取扱い事業所に対する文書指導、広報紙による意識啓発等を行っています。

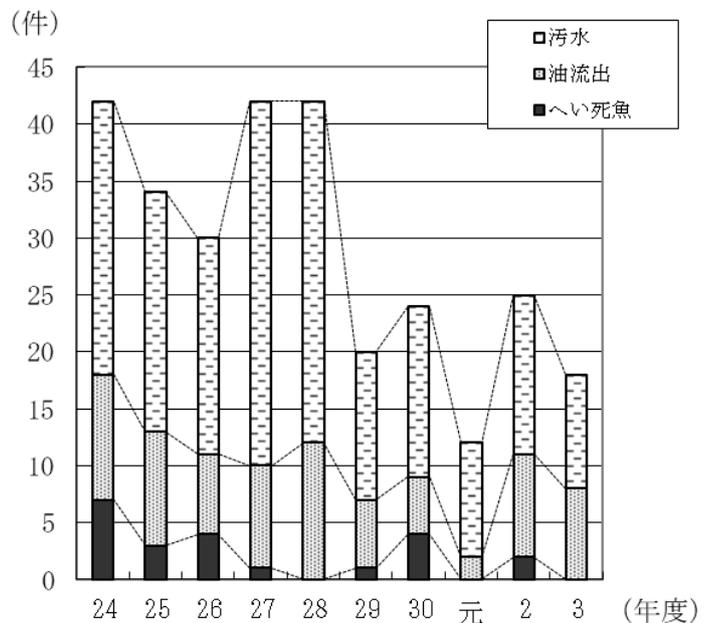


図12-5 水質汚濁苦情相談内訳

3 騒音

件数は58件で前年度より7件減少しました（図12-6）。

発生源としては、工場・事業場等17件、建設作業18件、営業騒音17件、その他自動車等6件となっています。

音は、人の身体や心理の状態、時間や周囲の状況によってうるさく感じる度合いが異なり、また、個人の感情面にも左右される要素があります。

また、公害の規定には当たりませんが、申立者と発生源が隣接し、当事者間で解決を図る必要がある場合においても市に相談するケースがあり、隣人同士のコミュニケーション不足による影響が懸念されます。

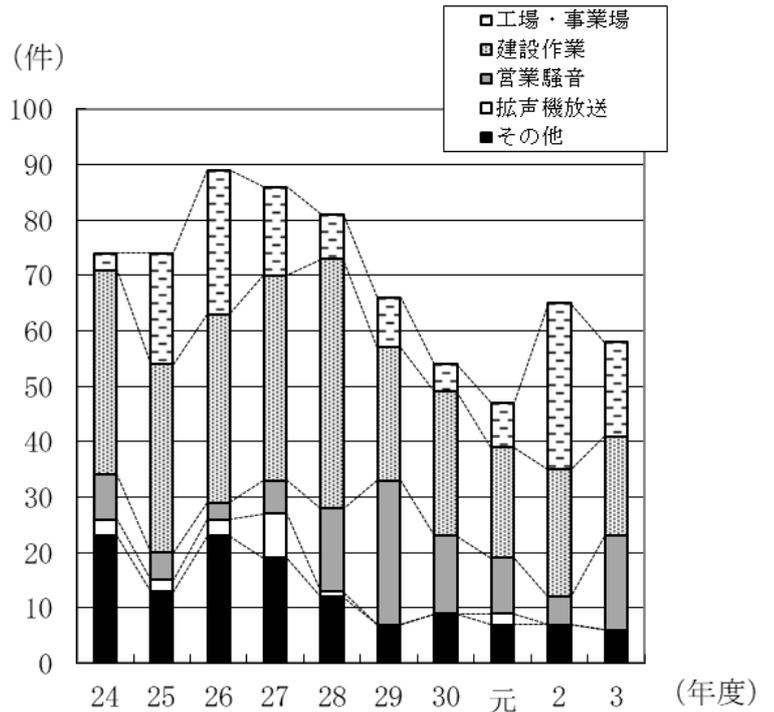


図12-6 騒音苦情相談内訳

4 振動

件数は10件で前年度より3件減少しました（図12-7）。

発生源の内訳は、建設作業5件、工場等2件、道路3件となっています。

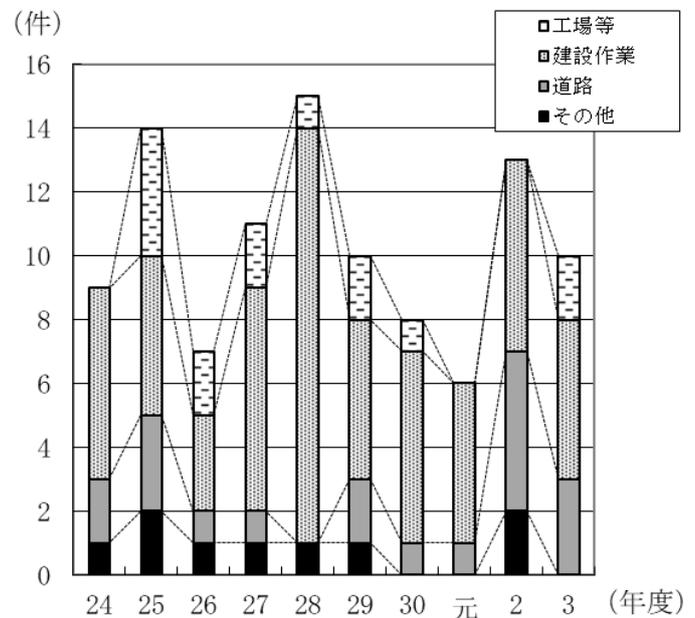


図12-7 振動苦情相談内訳

5 悪 臭

件数は32件で前年度より13件減少しました。主な発生源は、工場・事業場12件、その他や不明等14件などとなっています（図12-8）。

飲食店への悪臭の苦情相談が多くなっています。「3 騒音」と同様、公害の規定に当たらない当事者間のコミュニケーション不足による相談が増加しています。

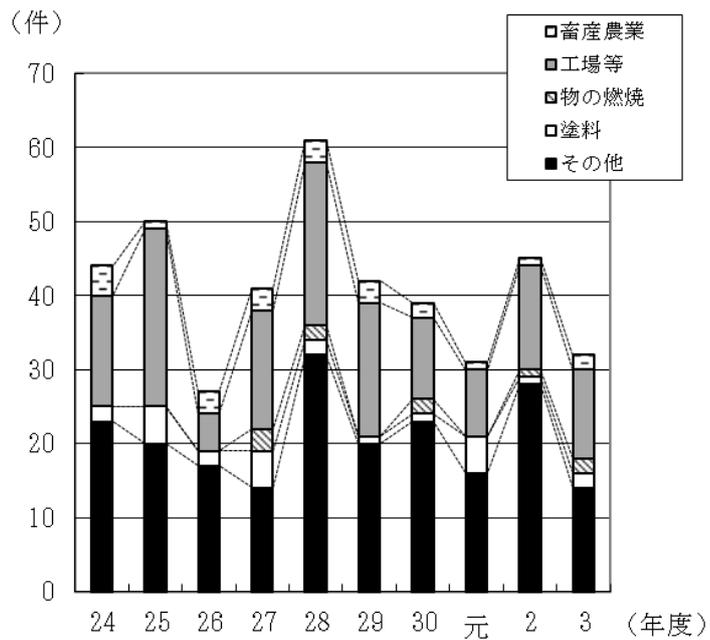


図12-8 悪臭苦情相談内訳

